

石井楚江 しゅうけい 詩人。明治十七年一月二十日岡山縣久米郡久米町生れ。昭和二十二年一月七日歿（八六三—九五）。本名真一。明治四十年早稲田大學文學部英文科卒。爾來靜岡の民友新聞社、岡山の山陽新聞社社會部長、朝鮮の京城日報社編輯局長、高松の四國民報社編輯局長と樺釧界を經たりし。大正十二年郷里に教職に就き、山本農學校及び山本實科高等女學校、津山商業學校で教へた。一方學生時代から文庫派の詩人として聞え、その後と各地の民謡、校歌作詞多數を殘す。

『石井楚江選集』（昭和二十八年十一月十五日岡山・石井楚江遺稿刊行会編刊）がある。

